

鴻巣市市制施行70周年記念

# 須田剋太展

—ふるさととの息吹—  
谷部正・稲原吉男

2024年

9.28<sup>土</sup>—10.5<sup>土</sup>

(上) 「少女像」 須田剋太  
(下右) 「秋の里山」 稲原吉男  
(下左) 「土蔵」 谷部正

10:00—17:00 ※最終日午後4時まで

吹上生涯学習センター

鴻巣市吹上富士見1-1-1 (JR高崎線 吹上駅南口 徒歩2分)

詳細は鴻巣市HPもご覧ください **入場無料**

同時開催 10:00—16:00

「須田剋太 鴻巣市所蔵作品展」  
長島記念館 熊谷市小八林1022 TEL:0493-39-2025

主催：須田剋太展実行委員会  
共催：鴻巣市・鴻巣市教育委員会  
後援：朝日新聞さいたま総局・埼玉新聞社・  
東京新聞さいたま支局・株式会社 埼玉りそな銀行  
問い合わせ：鴻巣市教育委員会 生涯学習課



鴻巣市市制施行70周年記念  
—ふるさととの息吹—

# 須田剋太展



「神戸異人館うろこの家」須田剋太



## 須田剋太 (1906-1990)

子供の頃は、近所の上岡良が描く絵に惹かれていた。熊谷中学校（現熊谷高等学校）で指導を受けた大久保喜一の影響で、画道に歩む決断をする。浦和時代を経て移った奈良では仏像や社寺を描き続けた。戦後は約20年間抽象画に没頭し、道元の正法眼蔵に心酔した。作品は生命力に満ち、魂を揺さぶり続けている。

## 谷部 正 (1900-1978)

熊谷中学校では大久保喜一のもとで学び、写実力を大きく伸ばした。東京美術学校（現東京藝術大学）卒業後は旧制中学校（後の高等学校）の図画・美術教師になり、熱心に画技術を指導した。そのかわら自らも画道の奥義を求め精進を重ねた。主に風景画を描き、その作品は温和で郷愁を感じさせる。白日会員。



「夕陽」谷部 正

## 稲原吉男 (1935-2019)

熊谷高等学校では谷部正のもとで学んだ。埼玉大学卒業後は県立高等学校の美術教師になり、美術の指導に情熱を傾けた。比企地方の里山の景観に惹かれ、何度も足を運んではその素朴に佇む風景などを描いた。須田剋太研究会が発足すると、その会長となり須田の作品の紹介に尽力した。一水会員。日展会友。



「溪流」稲原吉男

